

TYO ディレクター金野恵利香、村中なる美が 第19回アジア太平洋広告祭「The Fabulous Four」に選出！ 金野恵利香は COMMENDATION(最優秀賞)受賞！

2016年3月16日から19日にタイ・パタヤにて開催された第19回アジア太平洋広告祭(通称:ADFEST、公式サイト:<http://www.adfest.com/>)にて、当社クリエイティブ・センター所属の金野恵利香と村中なる美が The Fabulous Four2016 に選出され、制作したショートフィルム作品が会場で上映されました。

ADFEST は 1998 年に創設されたアジア最大の広告祭で、The Fabulous Four は“未来の才能”の発掘を目的として 2008 年からスタートした、若手ディレクターによるショートフィルムの競演セッションです。事前に脚本を募り、その中から選ばれた 4 人のみが実際に映像作品を制作し、ADFEST の会場での上映を許されます。今年は「Creative Intelligence」をテーマに 37 篇の応募があり、選考の結果、当社ディレクターの金野恵利香と村中なる美がその 4 名に同時に選出される快挙を成し遂げました。

さらに、金野恵利香が COMMENDATION(最優秀賞)を獲得致しました。当社にとって、同賞は昨年の久家友哉に続く 2 年連続の受賞となります。

※各作品は ADFEST 公式サイトで視聴できます。

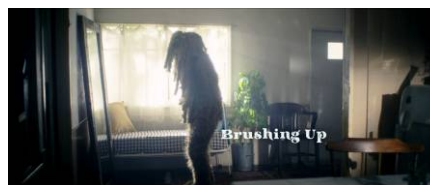
http://www.adfest.com/winners2016_showcase.php?category=21&awards=all

【The Fabulous Four 2016 作品紹介】

| | |
|------|---|
| 作品名 | : Brushing Up |
| 受賞 | : NEW DIRECTOR LOTUS SHORT FILMS FOR ADFEST 2016 BY THE FABULOUS FOUR... COMMENDATION |
| 受賞者 | : 金野恵利香(TYO クリエイティブ・センター) |
| 制作担当 | : ティー・ワイ・オー/Camp KAZ |

■あらすじ

ある日起きたら体中に毛が生えていた主人公の女の子。突然の変異に驚き、何とか毛をなくそうとするものの全く消えない。街に居場所をなくして辿り着いた廃墟で出会ったのは、同じようにけむくじゃらになった女の子たち。途方に暮れていた時、主人公は体を振って水滴を払う犬からヒントを得てあることを思いつく。ダンスの猛特訓の後、向かった先はガソリンスタンド。4人が自らの体に洗剤をかけ、泡だらけになった体でダンスをしながら車を洗う「ブラッシングガールズ」として一躍人気者になる物語。



≪ディレクターコメント≫

■企画意図

「Eureka!」(Eureka=エウレカ。古代ギリシア語で「みつけた」という意味の言葉。)

今年のテーマの「Creative Intelligence」を、「生きるためにゼロから何かを生み出すこと」だと解釈しました。自分の長髪の抜け毛を見て、『どうにかストーリー化できないだろうか?』と考えことが発端となり、極端にデフォルメした“毛むくじゃら人間”を思いつきました。その毛をいかに有効活用して行くかという方向にシフトしました。

■みどころ

ブラッシングガールズのたくましさ。ダンスシーンではただ単に女の子たちが楽しそうに踊っているように見えないように心掛けました。ブラッシングガールズがストイックに頑張っている姿をきちんと伝えるために、映像と音楽のバランスには気を付けました。歓喜と希望をダンスや表情で伝えてストーリーが進んでいくようにしています。

■撮影エピソード

大量の泡にまみれて踊る洗車シーンでは、濡れると乾きにくく、毛並みが変わってしまうブラッシングガールズの毛のことを考え、現場の状況や映りを見極めて次々とシーンを進めていきました。撮影は極寒の夜中に行われたので、水がしみて冷たくなった手足で最後まで笑顔で踊り続けてくれたブラッシングガールズやスタッフに感謝です。周りのみなさんにサポートしていただきながら、自分のできること・できないことを認識できたので良い勉強になりました。



■出品の動機

長尺のストーリーものをやってみたかったので、是非チャレンジしようと思いました。

■The Fabulous Four に選ばれた感想

脚本を思案している時からビジュアルが浮かんでいて、映像化してみたかったので嬉しかったです。

■今後どういう作品を撮っていききたいか？

経験と作品数を多く積み重ね、自分自身のカラーがきちんと反映された映像をコンスタントに作り続けていきたいです。特に企業 CM やブランデッド・コンテンツは積極的に手掛けていきたい分野です。

■ディレクタープロフィール

1989 年生まれ。東京芸術大学在学中は、美術学部先端芸術表現学科で写真、映画、デザインを学びながら、3 人の女性メンバーで構成されるテクノ・ポップバンドを結成し、シンセサイザーを演奏する内に音楽の知識も身につける。

2013 年、同大学卒業後、TYO へ入社。

2015 年、入社 2 年目にして演出を務めた Toyo Tire & Rubber Co., Ltd. の「Tire Kimono」が D&AD2015 Yellow Pencil, Spikes Asia 2014 Design Bronze、GLIO Awards 2015 Design Silver を受賞するなど、国際的に高く評価される。



■スタッフリスト

脚本・演出：金野恵利香／プロデューサー：西原正浩／

プロダクションマネージャー：三河綾子／プロダクションアシスタント：齋藤大樹、秋山学、鶴見利之、

中本一貴／撮影：今村圭佑／照明：織田誠／コスチュームデザイン：市川栄治／振付：講免綾／

音楽プロデューサー：戸波和義／作曲：yuma yamaguchi／ミキサー：吉崎雅章／ヘアメイク：吉田仁美、

赤錆リエ／特殊効果：小海常雄／劇用車輛：佐藤望／ロケコーディネーター：山崎隆志／

キャスティング：安部進／ダンサーキャスティング：戸部久美子、香川亮／オフライン：金野恵利香、

野口知奈美／カラリスト：田中基／VFX アーティスト：格内俊輔／VFX スーパーバイザー：渡部暁／

翻訳：清水泰富、加治屋純子、JULIA NOLET／出演：佐生雪、菅野亜未、平野絢子、平野恵、高橋琉晟、

ネギ(犬)



| | |
|------|--|
| 作品名 | : Beautiful Lie |
| 受賞 | : NEW DIRECTOR LOTUS SHORT FILMS FOR ADFEST 2016 BY THE FABULOUS FOUR・・・FABULOUS FOUR |
| 受賞者 | : 村中なる美(TYO クリエイティブ・センター) |
| 制作担当 | : ティー・ワイ・オー/Camp KAZ |

■ あらすじ

クリスマスの夜、とある一軒家に侵入した泥棒。薄暗い部屋を物色していると、突如後ろから声をかけられる。泥棒から銃を向けられても物怖じせずに話しかけてくる少女が盲目だということに気付く。

泥棒をサンタだと思いこみ無邪気に問いかけてくる少女に頬を緩め、物色する手を止めてサンタクロースになりきって作り話を始める泥棒。話を続けていると、玄関の方から車が停まる音がする。嬉しそうに「ママだ!」という声に慌てて部屋を出た後、残された少女は・・・。



《ディレクターコメント》

■ 企画意図

テーマの「Creative Intelligence」は色々な意味でとらえることができると感じたのですが、自分はそれを「悪知恵」に置き換えて物語を作ろうと考えました。

■ みどころ

お互いの顔もよく見えない夜の部屋で、泥棒が少しずつ優しくなっていく心の動きと、ラストのどんでん返し表現に一番気を配りました。

クリスマスのある夜に起こったおとぎ話のように見ていただきたいです。

シナリオ段階から舞台は外国だと想像していたので、外国人キャストで英語のセリフで実際に撮ることができ嬉しかったです。

■ 撮影エピソード

脚本を考える時に、いかに商品がある企画に慣れてしまっているかということに気がきました。自分がCMプランナーでなく、映画監督だと思って脚本を書くようにプロデューサーから助言され、そのように意識して書き進めました。見せたい商品があるCMの企画とは違う脚本作りには、脳みその普段使わない部分をすごく働かせたと思います。

1 シチュエーションでずっと暗い室内、二人の会話劇というのも単調に見えてしまう恐れがあるので、途中でロウソクに火をつけるなど、どんな風

に動きをつけて行けば良いかカメラマンさんともアイデアを交換しながら制作していきました。

また、日本人の自分では英語の台詞が自然に聞こえているかは判断しかねると思ったので、ネイティブスピーカーにアドバイスをもらいながら撮影を進めました。キャストやスタッフがとても素敵なメンバーで、手厚くサポートしていただき感謝しています。



■ 出品の動機

昨年、TYO クリエイティブ・センターの先輩である久家友哉さんが出品・受賞しているのを見て、「自分好みのショートムービーを自由に撮ってみたい」という想いを抱きました。もともとストーリーを考えるのが好きなこともあり、今年チャレンジしました。

■ The Fabulous Four に選ばれた感想

素直に「ラッキー」だと思いました。The Fabulous Four に選ばれたという連絡を受けた時はとても嬉しかったのですが、信じられない気持ちもあり撮影に入るまで疑ってしまったほどです。クリスマスの話も、夜を舞台にした話もずっとやってみたかったことだったので、そういう意味でも嬉しかったです。

■今後どういう作品を撮っていききたいか？

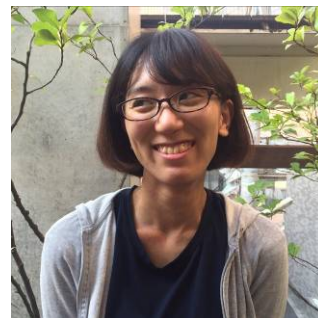
沢山のプロフェッショナルたちに支えられているので、その方たちに「良い仕事ができだね」と言ってもらえるような作品を楽しく作っていきたいです。
物語で人の心を動かすようなドラマを作っていけたら良いな、と思います。

■ディレクタープロフィール

1989 年生まれ。高校時代の恩師から強い影響を受け、立命館大学に入学して映像の世界へ進むことを決意。

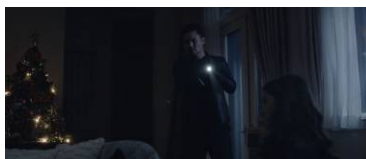
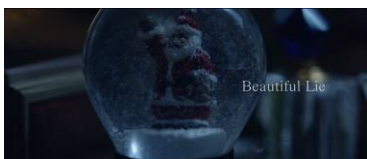
在学中、大学と有名映画会社の共同映画に、脚本助手兼美術助手として制作に参加。その映画はベルリン映画祭に招待され、プレゼンテーションの為にレッドカーペットを歩くこととなる。この経験は本格的にビジュアルイメージのキャリアを始める大きな要因になった。

同大学卒業後、2012 年 TYO に入社。



■スタッフリスト

脚本・演出：村中なる美／プロデューサー：柊木澤毅治／プロダクションマネージャー：黒田誠貴／
プロダクションアシスタント：山本貴史／助監督：藤森圭太郎／撮影：沼尾優貴／撮影チーフ：堀智弘／
照明：柴田亮／照明チーフ：丹羽ななえ／スタイリスト：永尾将宗／ヘアメイク：中原康博／
キャスティング：足立純子／美術：大里亮／音楽：照井淳也／サウンドデザイナー：久保田敏之／ロケコー
ディネーター：本間太郎／オフライン：高柳あゆみ／オンライン：林信朗／カラリスト：岩野豪洋／
ミキサー：前嶋聡／出演：ジャスミン・カツ、中村譲、ライアン・ドリース



3 月 17 日(木)ADFEST 会場にて作品が上映され、壇上のトークセッションにも参加しました。



トークセッションの様子



トークセッションの様子



贈賞式で登壇する金野恵利香と西原正浩プロデューサー



贈賞式後の記念写真
左から西原 Pr. 金野 Dir. 村中 Dir. 柊木澤 Pr.